

「もしかして倒れてる!？」をなくしたい。

IoT「見守り電球」ハローライトを使ったサービス開始しました。



こんなことで
お困りではあ
りませんか？

- ヘルパーが訪問したら玄関が開かない…家の中で倒れていた
- 安否確認のために配食サービスを使っているけど費用が…
- 介護サービスを利用していない日の安否が不安…
- 家族が元気か心配しているけど、毎日電話するのはちょっと…
- 在宅の利用者さんが何時に寝ているかなどの生活リズムを知りたい

見守り電球ハローライトとは？

- ・LED電球と通信機器(SIM)が一体化した通信可能な電球です。
- ・本体にSIMが内蔵されているので、別途ネット環境やWi-Fiは不要。
- ・電気が着いたときや24時間点灯がないときに所定のアドレスにメールが送信されます。
- ・玄関やトイレ、洗面所など既存の電球と交換するだけです(工事・電源不要)
- ・初期費用や機材代金などかかりません。月額638円(税込)のみで利用できます。

サービス利用イメージ

①導入

当事業所で、利用者様宅に訪問して、ハローライトの設置。アクティベート開始。

②モニタリング

点灯時間や回数をモニタリング。異常がないか、利用者様を見守ります。

③異常発生

24時間点灯がない場合など緊急事態が発生。利用者に電話連絡や利用者様宅に訪問します。

④安否不明

電話、現地訪問で安否が確認できない場合はケアマネジャーやご家族等に連絡をします。

「ハローライトについてのお問い合わせ」

訪問介護事業所ホームケアサブライ 電話：011-748-3550

ハローライト導入でわかった！利用者さんのあれこれ。

「ハローライト導入事例①」

利用者様…男性(80代)独居

以前からサービス提供責任者より昼の在宅サービスに訪問したら寝ていることが多く、昼夜逆転している可能性が指摘されていた。本人の承諾を得てハローライトをトイレに設置しモニタリング。結果として、3日間続けて夜間から朝方にかけて数回のトイレの点灯が見られ寝ていないことが分かった。以降、昼のサービスはそのまま、朝方にサービスを追加し朝になったら起床する生活を続けることで、食欲も戻り服薬もできるようになり、時間が少しかかったが昼夜逆転の生活から規則正しい生活リズムに戻ることができた。

「ハローライト導入事例②」

利用者様…女性(90代)独居

以前から近所に住む娘さんから「耳が遠くて電話が通じないのが困る。近所にいると言っても自分も若くないから安否確認で訪問するのも大変だし、勝手に出歩いてないか心配」と話があり、ハローライトの設置を提案。日中でも薄暗い玄関に設置して、外出しているかモニタリング。結果、通っているデイサービスとヘルパー訪問以外に点灯は確認されなかった。娘さんにはそのことを伝えると「電球が点いたのが、どうして分かるのか不思議だけど、母さんがちゃんとデイサービスに通って、自分で勝手に出かけて無いのが分かって一安心」以降、娘さんには週に1度連絡をして状況を伝えることにして、大変喜ばれています。

ハローライト見守りサービスご利用方法

(1)お電話にてハローライトを利用したい旨をお伝え下さい。

***現在、ハローライト見守りサービスは当事業所をご利用の利用者様に限らせていただいております。**

(2)利用者様に申込用紙に記入いただき、お申込みから1～2週間で設置いたします。

(3)ハローライトの利用料は、お使い頂いてる介護サービス利用料と一緒にご請求。

(4)サービス中止の連絡が無い限り毎月継続してサービスをご利用いただけます。

「ハローライトについてのお問い合わせ」

訪問介護事業所ホームケアサブライ 電話：011-748-3550